



周南たちばな学園 幼小中一貫教育は確実に進んでいます！

11月15日に山名小学校で周南たちばな学園幼小中一貫教育全体研修会を行いました。周南たちばな学園では年3回、校区の幼稚園・こども園、小学校、中学校の全教員が集い全体研修会を行っています。

学園の全体研修会の第1回は、例年6月に周南中学校を会場に行います。一貫教育の出口の姿として中学生の姿具合を校区全教員で確認します。第2回は8月、校区の共通する課題について、みんなで研修を深めます。今年度は特別支援教育について研修しました。そして、第3回は11月、小学校を会場に子供の姿で幼小中一貫教育の進み具合を話し合うために集います。

周南たちばな学園を正式に表明し、幼小中一貫教育をスタートして4年目となります。昨年度は12年間の学園カリキュラムの改定を行いました。この4年で、幼小中の立場を超えて、同じ地域の子供たちを育てているのだと教員の意識は大きく変わりました。一貫した教育の成果は、確実に見えています。

11月15日の全体研修会では、山形県西川村の教育関係者が視察団として参加しました。授業や全体会、分散会を見てくださり、幼小中の先生方が同じテーブルで同じ思いで、熱心に自分たちの実践を交えて論議している本学園の教員の姿を見て、感動しておられました。

一貫教育の成果は、まず、中学生に現れます。学園の目標「夢や希望を見出し、未来をひらく子ども」は、「持続可能な社会の創り手」と同じ意味です。様々な教育活動で生徒の主体性を伸ばしながら、生徒には、「君たちは、将来、地域や社会の未来を創る人にきつとなれる」と勇気づけを進めています。しかし、今年度は生徒の姿に我々が勇気をもらう場面も多々あり、思っていた以上に、子供たちには力と可能性があることを改めて感じています。

一方で、子供は繊細で脆弱な面も持っています。ほんの些細なきっかけで心に傷を負い、歩みが止まってしまうこともあります。周南中学校としては、小学校とも連携しながら一人一人に寄り添った指導を今後も心がけていきます。

人と出会い、磨きあい、助け合い、不条理を知り、自己実現を図ることを学ぶ社会的装置として、学校ほどのものはないと思っています。こども園・幼稚園、小学校、中学校が同じ思いで一貫した眼差しで子供を育てていけば、学校はより一人一人を伸ばしていけることを実感しています。

施設分離型の一貫教育は、その成果が見えにくい部分がありますが、確実に歩を進めておりますので、ご安心ください。

周南たちばな学園 周南中学校長
柴田 禎弘



総合的な学習の時間 3年生 市長を招いての発表会 大成功！

11月2日(木)に、3年生が総合的な学習の時間の発表会を行いました。各学級での発表を経て、学級代表を決め、全校生徒が集う体育館で代表者がプロジェクターを活用して発表しました。



共通テーマ「未来の袋井市への提言」に沿って、これまで学んできた福祉や防災、SDGs の視点で生徒は自分たちなりに袋井市の課題をとらえ、自由にアイデアを膨らませていました。

発表にあたっては袋井市在住でプロの漫才師として活躍されたこともある(株)永田石油の永田敬吾さんに漫才を通して「伝える勇気」について指導していただきました。どの生徒の発表もよく考えられ、伝えるための工夫がされていました。固くなりがちなテーマでしたが、生徒たちは軽やかに探究し、明るく表現していました。持続可能な社会の創り手としての自覚と自信を感じさせる素晴らしいものでした。

今回の発表会は、3年間の総合的な学習の時間のまとめの意味もあり、本校卒業生でもある大場規之市長をお招きしました。最初から最後まで、市長は全ての代表者の発表を参観されて、

「大人になって社会に出たら答えのない課題ばかりに直面する。真剣に考え、課題の解決に向けた自分の意見を周りの人に理解してもらうために伝えないといけない。その時に大切なのは、伝えようという強い思いだ。『ハッピースマイル袋井市』に向けて、皆さんが真剣に考え、自分たちのアイデアを練り、一生懸命伝えようとしていた。そして、私にも確かに伝わった。皆さんの姿をととても頼もしく思う。」

と語ってくれました。

授業や総合的な学習の時間の探究や学校行事や部活動など、様々な活動を通して、生徒は確実に持続可能な社会の創り手としての力をつけています。

11/2 総合的な学習の時間 3年生「未来の袋井市への提言」全校発表 発表者一覧



順	組	班	提案プロジェクトチームメンバー	※提案タイトル	※提案内容の説明(大まかな内容)
①	1	3	鈴木 陽南子 潘野 穂乃花 中山 夢叶	福祉業界IT化	福祉施設などにITを導入するアイデア
②	2	4	野中 麗良 成田 愛莉	袋井市「だけ」をつくってわが市を有名地に育てよう！	「袋井市たまごっちプロジェクト」～情報アプリやフッピー育成ゲーム、TAMAGO！など搭載、袋井専用のたまごっちで袋井市を有名にしよう！
③	3	4	奥之山 紗那 佐野 綾紗 佐野 心音	CONNECT	自然を有効活用したキャンプ場の建設。
④	4	5	北中 千晴 鈴木 由弥 松田 彩花 渡邊 莉音	袋井制覇の旅～観光スタンプラリー～	袋井市各地に散らばる特別スポットを巡り、スタンプ用紙を埋める。すべて埋めると景品がもらえる。
⑤	5	6	三浦 穂果 石黒 文菜 古川 愛那	空き家を利用した観光事業	観光ショップ、宿泊施設、スタンプラリーのアイデアを提案(グルメ、スイーツ、グッズ)。
⑥	6	7	後藤 光里奈 永野 恵麗 小栗 菜央 兒玉 彩芽	フッピーカフェ	袋井市の特産品を使ったスイーツなどがあるカフェ。カフェには障がいのある人や高齢者・幼児なども使いやすく、各種イベントも実施して、活性化を図る。
⑦	7	6	松浦 莉希愛 鶴見 くらら 村松 葵	フードリサイクル	ゴミ削減と活用システムについて。
⑧	生徒会	本部役員	成田 愛莉 堀尾 洸史 鈴木 由弥	R4未来会議その後～あそぼうさい	昨年度の未来会議で提案した、日頃からクイズやゲーム等を通して、遊びながら防災意識や技能を高める取組を実践に活動に移しました。その様子。